

今回出された成績について 【創造科学系】

両方の授業とも「ためになった」ような意見が寄せられており、ある程度、授業での手応えと一致していた。受講への満足がある程度あったと思われる。「説明が聞き取りやすさ」について、発言の一文の長さなど、あったかもしれないので、

「問1 この授業で、新しい考え方や知識・技能が身についた」において「①強くそう思う」「②ややそう思う」を合わせて、「AⅡ」97.9%、「BⅡ」93%、「CⅡ」100%、「CⅢ」100%、「CⅣ」100%とあり、「問10 この授業の教育目標が達成できたと思いますか」もほぼそれに近い数値となっていることから、授業の目標は達成されていると考えている。

自由記述で、教師になりたい気持ちが高まったり、教師になったときの自分を想起したりする内容があったことは大変うれしかった。今後も、体育科教育Aの授業を通して、小学校教師になりたい気持ちを大切にしたいと思う。

授業や入試など「成績」を評定化したとしても、それが適切な教員養成になっているかどうか悩むところです。真性の評価観点を常に模索し続けるしかないのかと思います。入試は点数主義のため、合格しても教員志望でない学生がいたり、講義成績が優秀だった学生も、教員になって不祥事を起こしたり、1年も保たず離職したりする例があるのではないかと思います。自分の場合、今のところ、まじめに出席する学生の成績数値が高くなります。今後は教員として必要な能力を考へ評価の観点に入れていきたいと思っています。

主な成績評価の資料である「授業シート」の記載内容で成績をつけています。15回の授業の中間(7~8回目)に回収し、その記載内容のチェックをしています。このことで最終提出時には記載内容の改善がされている状況があり、よい成績をとっている受講生が多いです。

今年度は出席率が非常に悪かったことが課題でした。そのため、全体的な成績はこれまでよりも低いものになっていると思います。授業の内容を理解し、自分自身で考えを深めることも大切ですが、教師になろうとしている以上、きちんと出席する、提出物を遅れずに提出するという基本的なところも指導していかなくてはならないと感じました。

真摯に受け止めます。

授業態度と、提出された作品を見て、まじめに取り組むことができたかどうか評価した。

出席、授業参加、レポートで総合的に成績を出した。

ピアノを弾いたことのない学生の努力を成績に反映できるように考えました。弾く曲の完成度だけでなく、曲数や弾く曲の難易度も考慮しました。

楽器未経験者が、積極的に授業に参加できるよう、出席状況を重視した。

・主体的に学習に取り組んでいる学生が多く、楽しく学習に取り組んでいる様子が見受けられたので、私自身も楽しかった。自分なりの工夫や努力をして授業に臨んでいる学生には、それなりの評価をしたいと思います。

・授業の出席率を加味した。
・教科教育に対する心構え、講義内容の理解と応用力をみるようにした。
・得意不得意ではなく、積極的に取り組む姿勢を大切にしたい。

大半の学生が非常によく努力していたと思う。ピアノの練習が好きか嫌いか、嫌いでも努力するかどうかということで曲の完成度が違ったものになってくる。総合的に判断し成績を出した。

学生さんたちが、この授業で新しい考え方や知識・技能が身についたと言ってくださってうれしかったです。たった15回の講義で免許をもらう資格がいただけるので、将来教員になられた時少しでも役立つようにしたいと思って授業をしています。

成績をつける際は、基準をつくり、大きく分け、その後に加点できる点を探している。